
『エア・アンド・スペース・パワー研究』 10周年記念号発行のごあいさつ

航空自衛隊幹部学校が創設70周年を迎えた今年（令和6年）、航空研究センターが、この8月1日に創設10周年を迎えましたこと大変うれしく思います。長年にわたり、本校と航空研究センターをご支援くださり、また、『エア・アンド・スペース・パワー研究』をお読みいただき、心より感謝を申し上げます。

航空研究センター（JASI : JASDF Air & space Studies Institute）は、この10年間で、防衛方策に関する調査研究、部隊の運用に関する調査研究を中心に、多くの優れた研究成果を発表してまいりました。その研究成果は、安全保障に関連する国内・海外研究機関との研究交流やシンポジウムにおける議論を通じて内容を深め、今まさに航空自衛隊はもとより社会全体に貢献する知識・価値となって生き続けています。航空研究センターにおけるこうした10年の歩みは、国内・海外研究機関や研究者から高い評価を受けており、将来、一層の交流促進と研究活動の活性化につながるものと確信しています。その一翼を担ってきたこの『エア・アンド・スペース・パワー研究』は、毎号の発行を通じて貴重な知見と知識を研究者、実務者をはじめとする皆様に広め、アカデミアとしての貴重な議論の場と学びの場を提供してまいりました。これもひとえに読者の皆様のご理解とご支援の賜物と認識しております。また、執筆いただいた研究員各位そして編集委員各位のご尽力に心から感謝を申し上げます。

航空研究センターが、これからも調査研究活動による「知識の創造」、「価値の創造」をもって航空自衛隊、ひいては我が国の安全保障と未来社会の発展に貢献できるように幹部学校長としての職責を果たしてまいります。変化が激しく不透明で不確実な社会環境にあっても、10年先、20年先を見据え、我が国そして国際社会の平和と安定、人々の豊かな暮らしを守る、いわば「モノトーン色を鮮やかな色合いに色づけていく」

エア・アンド・スペース・パワー研究（第12号）

ような、知識・価値を創造・創出する調査研究活動に取り組んでまいります。

「知的バーバリアン（野蛮人）たれ！」（野中 郁次郎）

引き続き、本校、航空研究センターの活動と、『エア・アンド・スペース・パワー研究』にご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

航空自衛隊 幹部学校長
空将 船倉 慶太